

第28回 東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル 結果レポート

報告：東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル事務局

実行委員長 福永 雄海

- 開催：2012年10月27日(土)～28日(日) (27日は前夜祭)
- 会場：神奈川県横浜・新山下 (釣り場は、東京湾一帯)
- 主催：横浜ビルフィッシュクラブ・レッドヘッダーズ
- 後援：JGFA
- ルール：IGFAルール・オールタグ&リリース・バーブレスフック採用
- 参加チーム：22チーム
- 参加選手 (ゲスト含む)：90名

※このイベントはJGFA「ライトタックルサーキット・関東2012」の第4戦にあたります。

1.《前夜祭》：例年恒例になっている前夜祭。今年も東日本大震災チャリティーイベントとして開催しました。参加者の皆さんの一年の行いが非常に良いようで…なんと！今年も雨は降らず、横浜・新山下にあるレストランタイクーンさんのオープンテラスにて前夜祭スタートです！二年連続で天候が良いのは何年振りでしょうか…45名の方が遊びに来てくれて義援金を寄付していただき、各々熱い思いを語っていました！



シーバスゲームのパイオニアの代表的な存在で、フェスティバル会長を務められている古山輝男さんも熱く語っていましたね～(写真右)



2.《ボート》：第28回フェスティバルは、22チーム、参加選手82名の規模で開催されました。



50ftの大型船から小型のボートまで様々なボートが参加されています。スタートフィッシングは、本部船のスタートコールとともに小型のボートからスタート！各チームがポイントへ向かいます。

3.《スケールとタグ&リリース》：シーバスの又長を計測するためのスケールがフェスティバルを後援する JGFA より各チームへ配布されました。バグリミットサイズの表示もあるスケールです。

『2012 JGFA シーバスフォトコンテスト』が開催されており、このフェスティバルはエントリー期間中のイベントでした。



このフェスティバルの最大の特徴であるオールタグ&リリースシステム。

いつかまた再会できることを願って・・・

合計 253 尾のシーバスがタグ&リリースされました。

4.《今回の大物は・・・》

今回の最大魚は 13 号地で釣り上げた又長 78.0 cm !
アングラーは TEAM 海援隊 GEKO の金真 研二さん。
もちろんタグを打ち、無事に海に T & R されました。
TEAM 海援隊 GEKO はカジキまで何でもこなすメンバー
がそろそろ凄腕チームです。



大物賞の副賞として、JGFA 長舗会長からもシーバスのブロンズトロフィーが贈られました。

(左写真右) 金真研二さん

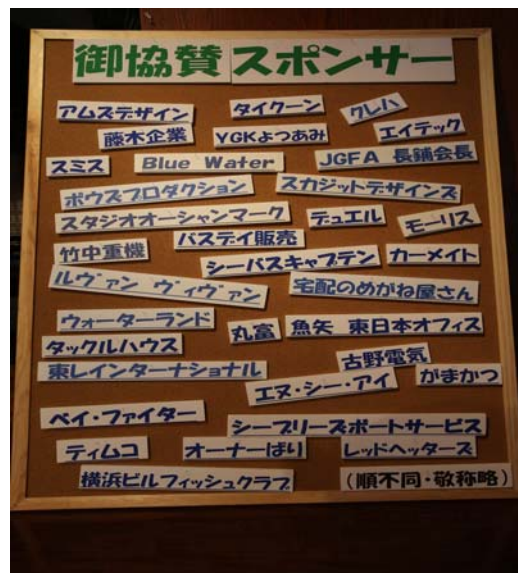
(写真中) ボートキャプテン 丸山 宏幸キャプテン

5.《表彰パーティー》：チームごとに着席で、おいしくボリューム満点の食事を食べながら・・・



表彰パーティーでは、参加者代表としておなじみ村越 正海さんに一言頂戴し、表彰式をスタート。パーティー会場は前夜祭同様、毎年御世話になっているレストランタイクーンさん。今回も非常においしくボリュームたっぷりの食事でした！タイクーンさんありがとうございます！

32社の御協賛スポンサー各社様のおかげで、表彰の副賞・福引を行う事もでき、大変すばらしいものとなりました。ありがとうございました



6.《表彰結果》 各賞の結果は??



今年のチーム賞1位は、大接戦でしたが…
 チームシークワァーサー（A）が優勝！
 又長 69.0cm 63.5cm 61.0cm 合計 193Pでした。
 シーバスフィッシングは様々なパターンが確立されてきましたが、どうやらこのチームも何か新しいパターンを見つけ出したようです！
 （※2位は1位と同率ポイントでしたが最大又長が大きい魚が含まれているチームを上位といたしました。また3位・4位も同様です。詳しくは表彰結果をご覧ください。）

レディース大物賞入賞の皆さん。今回は7名の女性が参加してくれました。

1位入賞は68.0cmをT&Rされた横浜ビルフィッシュクラブの福永 康代さん（左下写真中）。

2位は62.0cmでフライングフィッシュの藤原 由佳さん（左下写真右）。3位は48.0cmでレッドヘッダーズ（B）の田村 浩子さん（左下写真左）でした。

来年も多くの女性アングラの参加おまちしていま〜す！



今年のジュニア賞はアップーズ（A）の野本 未来夢君（12歳）最大は又長55.0cmでした。（左写真）

大人顔負けのキャストイングで、どんどんポイントを攻めていきます！本人いわく、今回は納得がいく釣果…ではなかったようです。来年もぜひ遊びに来てくださいね。これからの活躍を期待してます！

ジュニア世代が大人になっても楽しめるシーバスフィッシングの環境を我々は残していきたいと思います。

東京ベイにはシニア賞というものもあります。

シニアといっても大ベテランばかり！そして毎年激戦でもあります。今回激戦を制したのは・・・

シニア大物賞1位 ニューポートアングラーズクラブの浅見 守男さん（右写真中）又長69.5cmの大型をT&Rしての入賞です！

2位 横浜ビルフィッシュクラブ（A）福永 康代さん（右写真右）3位レッドヘッダーズ（A）印南 康資さんでした。来年も熱い激戦を見せてください！

シーバスフィッシングは幅広い年齢層に親しまれ楽しまれているゲームフィッシングですね！





こちらはここ数年、人気が出てきているフライフィッシング部門。

フライフィッシングは海況や風等様々な要因が釣り自体に影響してきますが、どんな条件でも、釣ってくるアングラーの方はいらっしゃる！レッドヘッダーズ (A) の印南 康資さん 又長 52.0cm を T&R され、見事フライ部門優勝です。

7.《次年度 29 回に向けて・・・》

「東京ベイ・シーバス・ゲーム・フェスティバル」は今回で 29 年目を迎えることができました。当初は 30 名ほどでスタートしたこのイベントも、今では国内最大級のポートシーバスイベントとして開催することができています。これもひとえに参加者の皆様と、毎年御協力いただいている関係者の方、並びに御協賛メーカー各社様のおかげでございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

昨年の東日本大震災以後、原発事故による自然への影響や震災ガレキの受け入れ等、景気も含め、まだまだ日本の危機的状況の中ではありますが、実行委員会で検討した結果、少しでも日本に元気を取り戻そう！そして被災地の皆さんのためはもとより、参加者の皆様にも盛り上がり明るくいこう！という昨年の考えを続けていこうという結論になり、今年も昨年同様、チャリティーイベントとして開催させていただきました。そして今年も大変多くの方の義援金を参加者の皆様よりお預かりして被災地に送ることができました。皆様のご協力に感謝いたします。

合計 55,441 円となり、そのすべては日本財団を通し、被災地へ送らせていただきました。

近年、シーバスゲームは日本各地で確立されつつあり、また釣具の発展やアングラーの新しい発想により、各地で様々なスタイルやパターンが確立されてきました。大変嬉しい事だと思います。

シーバスを釣る事だけではなく、次の世代につなげる為に、タグ&リリースやキャッチ&リリース、バーブレスフック等、今では当たり前のことになってきていることですが、初心を忘れず、マナーや安全対策もしっかりと考え、東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバルは更なるシーバスフィッシングの発展を願い、これからもこのシステムを採用し、東京湾のスズキの資源を末永く維持して、素晴らしい釣りをいつまでも続けていきたいと思えます。

すでに次年度 29 回に向け実行委員長をはじめ、スタッフ一同はこのフェスティバルをさらに皆が楽しめるように思案中です。

30 周年を迎えることができるよう実行委員会も頑張っていきたいと思えます。

「29th 東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル」会場にて、また皆さんにお会いできる事をスタッフ一同楽しみにしております。

来年のフェスティバルまで安全には十分気をつけてシーバスフィッシングを楽しみ、多くのシーバスと仲間に出会えるように・・・